

6. 貯水・事後調査（定期的調査）など



6.1. 貯 水

池干し後の干した状態は、長いほど効果的ですが、少なくとも **1~2週間程度は干した状態**にして、再度オオクチバス等の生息がないことを確認してから水を貯め始めます。

また、大きなため池では水が貯まるのに時間がかかりますので、翌年のかんがい期まで必要水量が貯まるのかも計画段階で水利組合などと確認しておきます。



6.2. 事後調査（定期的調査）

ため池の生態系や在来魚・希少種の保護のためには、池干し後も定期的に在来魚の生息状況と併せて、オオクチバス等の生息確認の調査を行います。

調査によりオオクチバス等が確認された場合は、再度池干し駆除を実施してください。

なお、ため池における魚類の捕獲方法を以下に示しますが、これらは漁業調整規則で認められていない場合があります。事前に各都道府県の水産担当課に相談・確認して、必要なときは**特別採捕許可**を受けて下さい。

